

当面の水管理について

～低タンパク米の生産には早期の莖数確保が重要です～

1. 好天を生かした浅水管理を行いましょう

5月28日5時 石狩・空知・後志地方の週間天気予報

日付	28 木	29 金	30 土	31 日	1 月	2 火	3 水	
石狩・空知・後志地方 府県天気予報へ	曇時々晴 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇 	曇 	
降水確率(%)	-10/0/0	0/0/10/0	10	10	30	40	40	
信頼度	/	/	A	A	B	C	B	
札幌	最高(°C)	18	23	26 (24~29)	26 (23~28)	24 (21~26)	23 (19~26)	22 (19~25)
	最低(°C)	/	10	11 (9~13)	12 (10~14)	12 (10~14)	13 (11~16)	13 (11~15)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
札幌	平年並 3 - 13mm		最低気温		最高気温			
			10.5 °C		19.4 °C			

この先一週間は温度・日照にも恵まれる予報です。この好条件を生かし天候に応じた積極的な水管理で早期莖数確保に努めましょう。

- 基本的には浅水(2~3cm)とし、水温上昇に努める。
- 最高気温が14°C以下の日や強風時のみ、5~7cmのやや深水とする。

2. 除草剤の早期適正使用で除草効果を高めましょう

- 散布時は水深3~5cmで完全な止め水とし、散布後7日間程度は落水・かけ流しはせず、田面を露出させないようにしましょう。
- 代かきから移植までの日数はおおよそ5日以内の設定なので、その期間が長い場合は、雑草の発生時期・葉令に注意して散布しましょう。(表示散布晩限より早く使用する)
- フロアブル剤やジャンボ剤、豆つぶ剤の場合、藻類や表層剥離の発生が多い状態では薬剤の拡散性が阻害されるため注意しましょう。
- 除草剤は散布後7日程度で成分のほとんどが土壤に吸着され処理層が形成・安定します。それ以降は、通常の浅水管理に切り替えましょう。

注意！！

一部で移植後の低温や強風による植え傷みが発生しているほ場があります。補植が必要なほど植え傷みしているほ場は、**稲の回復を待ってから除草剤を散布するようにしましょう。**